

「テンペスト」池上永一氏が描く、首里城を舞台にした物語 「レッドカメリア」hontoにて連載開始

honto独占先行配信！第1話無料公開



大日本印刷株式会社（DNP）が株式会社丸善ジュンク堂書店、株式会社文教堂及び株式会社トゥ・ディファクトと共同で運営するハイブリッド型総合書店「honto (<https://honto.jp/>)」は、作家池上永一氏による最新作『レッドカメリア』第1話（イマジカインフォス刊）を本日2024年8月30日（金）より先行配信します。

特設ページでは、無料公開の第1話と、著者のインタビューを掲載しています。

特設ページURL：<https://honto.jp/cp/ebook/2024/redcamellia>

連載は全12話を予定しており、月2回、hontoにて一話を前編・後編に分け、掲載いたします。

■「レッドカメリア」紹介

「シャングリ・ラ」「テンペスト」「ヒストリア」など圧倒的な筆力で歴史エンタテインメントを送り出してきた池上永一が、繰り返される首里城の焼失～再興から、壮大で、美しく、新しい沖縄の歴史を描き出す。

時は17世紀初頭、日本と明国の間で複雑な国情となった琉球王国。

少女・真花は渡地と呼ばれる花街で育った。まだ顔を知らぬ父の姿を求めて、首里城の御内原（後宮）に上がることになった。

王宮の中に渦巻く権謀術数に真花は一人立ち向かう。

■企画意図

2019年10月31日、首里城が火災で失われました。

当時の僕は『海神の島』を読賣新聞オンライン上で連載していて、毎朝五時に更新されるのをゲラと照らし合わせてチェックするのが日課でした。朝の四時過ぎからパソコンの前でスタンバイしていた時に「首里城で火災か？」の速報が流れました。当時のtwitter(現X)の投稿動画で暗闇の中で燃える火があり、私はてっきり「奉神門か、歓会門かの小火騒ぎかな？」と首里城の辺縁部の映像だと思っていました。それが夜が明けてくるにつれ炎は正殿からのものだとわかり、ショックでずっと頭がくらくらしたままニュースを視ていました。（中略）

数年間ずっと自分が首里城にできることはないか、自問自答してきました。そして小説家として首里城にできることは、新しい首里城の物語を捧げることでであると決心しました。それが『レッドカメラ』です。

（池上永一氏インタビューより抜粋）

■ハイブリッド型総合書店「honto」について

「honto」は、電子書籍ストアとネット通販（e-hon、MJオンライン）と、丸善、ジュンク堂書店、文教堂などのリアル書店を連携させた総合書店として2012年5月にサービスを開始しました。

ネット書店とリアル書店共通で利用できるhontoポイントサービスは、啓林堂書店、戸田書店(9店舗)、函館栄好堂 丸井今井店など全国各地のリアル書店を加え、現在約180店舗で展開しています。

2024年5月現在、会員数853万人を突破しており、「読みたい本を、読みたい時に、読みたい形で」提供するサービスで本を愛する人をサポートしています。

- ・ハイブリッド型総合書店「honto」公式サイト：<https://honto.jp/>
- ・X（旧Twitter）：https://twitter.com/honto_jp

<大日本印刷株式会社 会社概要>

- ・会社名：大日本印刷株式会社（Dai Nippon Printing Co., Ltd.）<https://www.dnp.co.jp/>
- ・代表取締役社長：北島 義斉
- ・所在地：〒162-8001 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

<株式会社トゥ・ディファクト 会社概要>

- ・会社名：株式会社トゥ・ディファクト（2Dfacto, Inc.）<https://www.2dfacto.co.jp/>

- ・代表取締役社長：鈴木 一光
 - ・株主：大日本印刷株式会社
 - ・所在地：〒162-8001 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
-

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000975.000009424.html>

hontoPR事務局のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrhp/company_id/9424

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

大日本印刷株式会社 honto広報担当：吉岡 健治

TEL：080-7758-4468（直通・携帯）／E-mail：Yoshioka-K7@mail.dnp.co.jp